

ブラストキー工法の設計講習会を開催します。

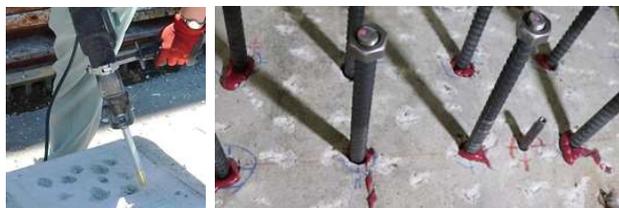
今回、「ブラストキー工法」に関する技術の適用範囲拡大として、新たに、

- ①「チップングによる目荒らしを簡易にブラストキーへ置換する設計手法」を確立したことにより、
- ②「建築構造物全般の接合部に適用、管理のできる目荒らし工法」となり、広範囲の接合部に使用可能となりました。

ブラストキー工法の適用範囲拡大

概要

ブラストキー工法は、チップングに代わる新たな目荒らしとして開発された技術です。ダイヤモンドコアドリルでコンクリート表面を切削するため、騒音・振動・粉塵を抑えて施工できます。また、施工者の技量差によらず一定の形状で施工ができることから、せん断耐力を定量的に評価でき、ブラストキーの個数を数えることで容易に管理が可能となります。



チップングによる目荒らし



ブラストキー工法

設計講習会開催

この度の開発により、ブラストキー工法の適用範囲が広がり、多くの建築構造物に採用できるようになりました。そこで「ブラストキー研究会」を設立し、全国で設計講習会を開催します。

■開催予定日■

1/23 (木) 仙台、1/24 (金) 札幌、2/4 (火) 福岡、2/5 (水) 広島、
2/7 (金) 大阪、2/21 (金) 東京 詳細はお問い合わせください。

お問い合わせはこちら

ブラストキー研究会事務局 (株式会社 E&CS)
TEL: 03-6455-8430

ブラストキー工法は、飛鳥建設、東亜建設工業による共同開発技術です。

耐震診断後の未改修建物 4 割

『耐震性が不十分だと診断された計約3800棟の4割にあたる約1500棟が未改修』との記事が掲載されました。(引用: 朝日新聞2019年10月8日付け) 診断により耐震性が不十分との結果がでたものの耐震改修や建替えに踏み出せない理由は様々あることでしょう。

最近では大型台風や集中豪雨など未曾有の自然災害が多く発生しています。ある程度予測できる台風でも相当な被害や備蓄品の不足が出ている状況です。地震は「3日後に大地震が発生します」といった短期的な予測はできません。いつ来るか分からない地震だからこそ後回しにせず対応したいですね。



NHK「パラレル東京」を視聴して

ご覧になった方も多いかと思いますが、NHKでドラマ「パラレル東京」が放映されました。(2019年12月2日～12月5日) 架空の東京で首都直下地震が発生し、その後の4日間の様子を追う内容でした。ドラマと現実とで時間軸を合わせていて次々に起こる想定外の出来事に衝撃をうけました。またかなりリアルな表現もあり恐怖を感じる内容でもありました。

「地震災害に備えましょう」と呼びかけたり防災用品を紹介する情報番組はよくありますが、実際に体験しているような番組はこれまで無かったので、どこかで他人事と考えていたのだと思います。

出展: NHK 体感首都直下地震ウィーク ドラマパラレル東京 (<https://www.nhk.or.jp/taikan/parallel-tokyo/>)

防災情報動画が公開されています

内閣府の防災情報のページで「南海トラフ地震の多様な発生形態に備えた防災対応動画」が公開・配信されています。ドラマ仕立てで分かりやすい内容となっていますのでご覧ください。

出展: 内閣府 防災情報のページ (<http://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/leaflet.html>)
・南海トラフ地震の多様な発生形態に備えた防災対応動画 (ドラマ版) (http://www.cao.go.jp/lib_012/saigaitaitoudorama.html)